

## 日系社会との連携

### 日系社会との絆を さらに強く



中南米15カ国  
5,005人

日系社会研修員受入人数  
(1971-2021年度)

中南米には世界最大、約213万人の日系人コミュニティが存在し、日本との強い絆となっています。

JICAは、戦後の国家政策による中南米などへの移住者に対する支援を実施してきました。近年は日系社会の世代交代に対応した協力と連携強化に重点を置いています。

#### 日系団体と連携した地域貢献

2021年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた中南米の日系団体の医療、高齢者福祉、継承日本語教育事業などに助成金を通じた支援を実施しました。特に医療機関は、日系・非日系を問わず地域住民へ医療サービスを提供し、地域医療に大きく貢献しています。

#### オンライン研修などの支援を継続

来日しての研修ができないなか、オンラインによる日系人の中・高・大学生対

象のプログラム(合計58名)、技術習得を目的とした日系社会研修(31コース、合計107名)を実施。さらにセミナー形式の研修もオンラインで実施。延べ1,265名が参加しました。

こうして日系社会研修はパンデミック下でも続けられ、2021年に50周年を迎えました。同研修はこの50年で15カ国から累計5,005名の研修員を受け入れ、長く日系社会の人材育成に寄与してきました。さらに、日系人大学院生22名の就学支援も実施予定です。

日本には約30万人の日系人が暮らしています。JICAは2021年度も、日系サポーター研修(日系人が、日本の地方自治体などの多文化共生事業に協力しつつ、その事業を学ぶ研修)を神奈川県と岐阜県のNPO法人の協力を得てオンラインで実施。また、オンライン公開セミナー「多文化共生・日本社会を考える」を7回開催し、延べ1,439名が参加しました。

コロナ禍の影響を受け、2020年3月から現地での活動を見合わせていた日系社会青年海外協力隊員なども順次派遣を再開し、2021年度末時点で7名が活動中です。

#### 国内外のネットワークで実現した 海外移住資料館の展示リニューアル

2021年度、海外移住資料館(横浜)には、1万8,850人が来館、11回のオンラインイベントには延べ1,634人が参加しました。また、国内外の移住資料館や県人会、国内の日系人との協力の下、開館20周年の展示リニューアルを行いました。「JICA海外移住懸賞論文」では海外移住の歴史への関心をさらに広げるため、より応募しやすい「エッセイ・評論部門」を加え、2021年11月に受賞者を発表しました。



ペルー：ペルーへの日本人移住100周年を記念し設立された日秘百周年記念病院では、ロックダウンなどの影響で利益が74%減となった。新生児集中治療室の改修は困難だったが、JICAの助成金で日本製未熟児用保育器などを導入。日本で研修を受けた多くの医療従事者による質の高い医療を提供し、日本とペルーの信頼関係向上に寄与している  
[写真：Clínica Centenario Peruano Japonesa]



関連情報

JICAウェブサイト — 移住者支援、日系社会との連携